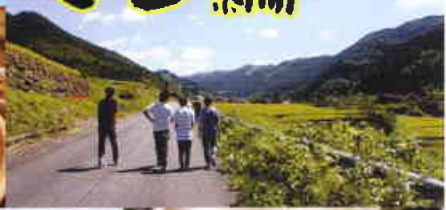


みなまた環境大学

～じっくり編～

…きっと、見つかる。



◇期日：11月21日（土）～24日（火）

◇募集人員：各コース5～10人 ※最少催行人員5人

◇参加資格：学習意欲のある人。年齢不問。

◇受講料：40,000円(宿泊・食事代込み)

■場所：水俣市内

■各コース概要：中面のとおり

■申込〆切：11月7日（土）

■申込み・問合せ：みなまた環境大学実行委員会
(水俣市環境対策課内)

〒867-8555 熊本県水俣市陣内1丁目1番1号

TEL 0966-61-1612

FAX 0966-63-9044

メール kankyo@city.minamata.lg.jp

HP <http://www.minamatacity.jp/> (水俣市HPからリンクできます。)

みなまた環境大学 冬コース概要

コースA
「みなまたの海をあなたに」
潜って、調査して、
自分で確かめよう水俣の海

11月21日(土)
14:00 集合・受付
集合場所：肥後おれんじ鉄道
水俣駅

●海藻の森づくりを学ぶ

18:30 交流会(夕食)

11月22日(日)

●体験ダイビング

水俣市袋地区の山、川、海の水のゆくえの説明のあと、水俣以外では見ることが少ない、海中の湧水とその付近の生物観察、動画静止画撮影を体験。少し離れた地点でも潜水し、生態系の違いについての比較検討をします。

※ダイビング経験不問です。

11月23日(月・祝)

●袋の海 生物調査

袋湾の住宅に近い箇所を選び、基本的な生物調査を行い、生物の環境情報を得るための基礎知識を学びます。

11月24日(火)

●まとめ

11:00 合同閉講式
修了証授与

コースB
「森と棚田から考える
水俣病と近代化」

11月21日(土)

14:00 集合・受付
集合場所：愛林館

●愛林館の活動の説明

久木野地区の見学

～知らないところは、
まず高いところから見下ろして

●棚田から学ぶ

～棚田の水はどこから来る？
石垣の歴史 など

●棚田の現状と課題

～耕作断念田の広がり など

18:30 交流会(夕食)

11月22日(日)

●環境モデル都市フェスタ参加

～枝廣淳子氏講演を聴く

●森林から学ぶ

～森の健康診断 水源の森見学
よい人工林・手入れ不足の人工林
の見学

●森林の手入れ

つる切り作業など

●たき火&討論 「森と人間」

11月23日(月・祝)

●水俣病から学ぶ1・2

～水俣病の歴史、語り部の話を書く

●命をいただく

～自分の手でいのちを断って、
にわとりを食べよう

●たき火&焼酎談義

(シンポジウム)

近代化を乗り越える

ブレンストーミング

「こうなったら近代化を超えた
ということだ！」

11月24日(火)

●森林と棚田と近代をめぐ
る思索ワークショップ

～では、近代化を超える一歩目は？

11:00 合同閉講式
修了証授与

コーディネーター：愛林館館長 沢畑 亨

コーディネーター：水俣浮浪雲工房 金刺 潤平

コースC
「水俣病を学び、考える」

11月21日(土)

13:00 集合・受付
集合場所：肥後おれんじ鉄道
水俣駅

●オリエンテーション

●水俣病歴史考証館見学

●水俣病患者の話を書く

18:30 交流会(夕食)

11月22日(日)

水俣病 場所の記憶

●講義：水俣病もある水俣

●フィールドワーク

～八幡残遺プールとチッソ周辺
を歩く

～水俣湾埋め立て地を歩く

～茂道とグリーンスポーツ散策

●船で周遊

●夜なべ談義

11月23日(月・祝)

水俣病 失敗と教訓

●頭石村丸ごと生活博物館を歩く

●講義

～水俣病はどんな失敗なのか

●ワークショップ①

～水俣病事件の失敗を
振りかえる

●講義

～水俣病のある水俣の地域戦略

●ワークショップ②

～水俣ができること

11月24日(火)

●ふりかえり&ワーク

水俣病&水俣を三つのキーワード
で表現すると

11:00 合同閉講式
修了証授与

コーディネーター：水俣教育旅行プランニング 吉永 利夫

コースD
「吉本地元学」
人が元氣、自然が元氣、
経済が元氣なまちやむらをつくる

11月21日(土)

11:00 集合・受付
集合場所：水俣市役所

移動(11:30 市役所～頭石地区)

●地域づくりの地元学の現場にふれる

～頭石村丸ごと生活博物館(昼食あり)

●さあ、なにをしたい？なにを調べる？

～調べるテーマ、メニューを選ぼう

18:30 交流会(夕食)

20:00 夜調整 ～地元学とは何か

11月22日(日)

●さあ、調べよう。

～出会い、驚き、考えよう。

選んだメニューで調査開始。

地元の人と出会い、話し、1日ゆくり、
じっくり調べます。

●夜調整

地元学の実践事例

11月23日(月・祝)

●調べたことをまとめよう

●調べたことを発表し、共有しよう

●活用しよう

気づいたことをどのように役立てる？
みんなで話し合おう。

●夜調整

地元学のこれから

11月24日(火)

●ふりかえり

～これからやりたいこと

11:00 合同閉講式
修了証授与

コーディネーター：地元学ネットワーク主宰 吉本 哲郎

コースE
「環境と産業の調和を考える」
歴史に学び、現状を知り、
未来につなぐ

11月21日(土)

14:00 集合・受付
集合場所：JR新水俣駅
(観光物産協会エコみなまた)

●「ごみ」じゃない①

～家電リサイクルの現場

みなまたエコタウン

「アクトビラ」サイクリング見学

18:30 交流会(夕食)

11月22日(日)

●水俣で観光業をしようと

いうこと ～講義と施設案内

●体験 ～ランチを作ってみよう

●環境モデル都市フェスタ参加

～水俣と、他の地域の環境施策
を比較する

●山の温泉地めぐり

11月23日(月・祝)

●「ごみ」じゃない②

～びんの行方…」コースの現場

みなまたエコタウン「田中商店」

●エコパークみなまた

視察研修

エコパークにある施設をめぐる

11月24日(火)

●水俣の産業

講義&見学

～チッソの最新技術

11:00 合同閉講式
修了証授与

コーディネーター：福田ワイナリー 福田 興次

みなまた環境大学 短期セミナー 募集要項 ～じっくり編～

1 開催趣旨

公害の原点である水俣病。その経験を教訓として「環境モデル都市づくり」をすすめてきた水俣。「再生する水俣」の現在(いま)を知り学ぶことで、水俣病の教訓を次世代につないでいくとともに、自分で考え、行動することのできる人材の育成を目指します。

2 本セミナーの特徴

- 1) 過去の経験を踏まえて、環境に軸足を置いたまちづくりを実践する「みなまた」。その取り組みや環境について、より深く学ぶことができます。
- 2) 水俣全体が1つの大学、それぞれの現場が教室、地元の人が講師です。
- 3) 現地を歩き、人とふれあい、学ぶことで、水俣の環境のまちづくりと、これまでに至った歴史を知り、これからの課題などを探ります。

3 申し込み方法

所定の申込用紙に必要事項を記入のうえ、事務局に提出ください(郵送・FAX・メールのいずれか。提出先は表面)。申込書の受付後、事務局から各コースの詳細なプログラム等について御連絡いたします。

4 個人情報の取り扱いについて

申込みの際にお知らせいただいた個人情報は、水俣市の個人情報保護条例に基づき厳重に取り扱い、セミナー運営にかかる利用目的以外には一切利用いたしません。

— 注意事項など —

- ① コースA～Eのいずれか1つを選んで申し込んでください。各コースの詳細はホームページで確認できます。
- ② 最少催行人数は各コース5名です。人員が達しないコースは実施しません。御了承ください。
- ③ 各コースとも3泊4日で実施します。部分参加はできません。
- ④ 宿泊先は原則として事務局手配の宿泊先(相部屋・合宿方式等)を利用願います。体調、疾患等の事情がある場合はご相談ください。
- ⑤ 食事は、各コースで準備・提供します。アレルギー等がある方は事前にお知らせください。
- ⑥ 交流会は全コース合同で実施します。また、水俣市が実施する「環境モデル都市フェスタ前夜祭」との合同開催です。フェスタの講師、パネリストも参加予定です。
- ⑦ 各コースで集合時間・場所が異なります。ご注意ください。
- ⑧ キャンセルされる場合は特段の事情がない限り、1週間前までにご連絡ください。11月14日(土)以降のキャンセルは、キャンセル料10,000円を申し受けます。
- ⑨ 野外での活動があります。動きやすい服装、靴で参加してください。
- ⑩ セミナーの実施の際、安全には万全を期しますが、万一の場合の補償は加入していた保険の範囲内に限らせていただきます。
- ⑪ 受講料の支払いは21日(土)の受付時に、現金にてお願いします。
- ⑫ 受講料には、期間中の宿泊・食事代を含みます。
- ⑬ 内容は、天候等の事由により、変更になる場合があります。